

エリア研修
『大宮盆栽村編』

Japan 
Wonder
Guide

盆栽LOVE! 埼玉LOVE!

川島 好映（かわしま よしえ）

- 2016年2月、通訳案内士（英語）資格取得
- 埼玉県出身
- 趣味は盆栽、6年40鉢以上
- ほかにガーデニング、アート鑑賞、カラオケ、お酒など

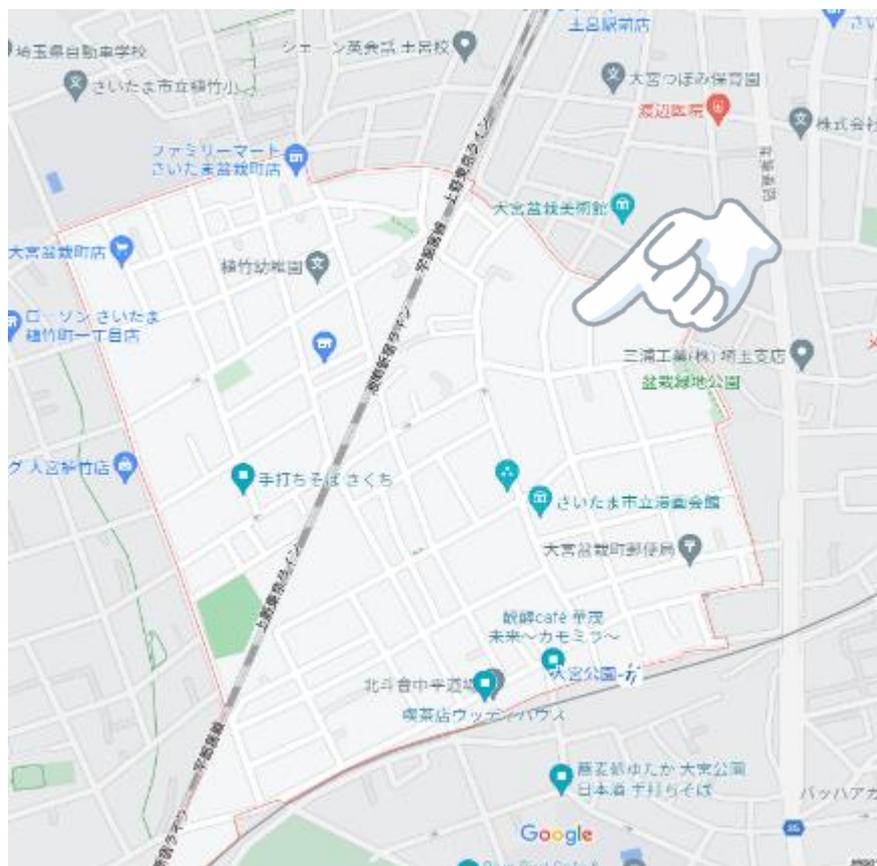


大宮盆栽村・および盆栽そのものの基礎知識を得る

- 内容
 - 街の概要（地理・歴史）
 - ガイドのポイント
 - 盆栽の基礎知識
 - 観光スポット
 - 周辺情報
 - おすすめルート
 - 下見のポイント



「大宮盆栽村」 = 大宮公園北側、東武線とJR線の間一帯



- 行政上の地名は「さいたま市北区盆栽町」
- 最盛期は30余軒、現在はエリア内に6軒の盆栽園
- 世界的に有名な「盆栽の聖地」

世界でも類を見ない盆栽職人による職住一体の街

- 関東大震災後に入植開始
- ユニークな住民協定
- 車社会を見据えた先進的な街づくり
- 毎年5/3～5に開催される「大宮盆栽まつり」



世界に誇る日本文化BONSAIを楽しむ

- 盆栽の基礎知識を理解し、名品を鑑賞する
- 特異な歴史を持つ街の成り立ちを知る
- 盆栽園ごとの魅力や特色を味わう
- 緑豊かな街を散策し、ゆったりリフレッシュする
- 先人が紡いだ歴史と木の生命力に思いを馳せる



- そもそも盆栽ってなんだろう？



画像出典：[alpshima 2](#)



画像出典：[engei net](#)



- 盆栽と鉢植えの違いとは？

浅い器

盆

うつわ

鉢

深い器

切り整えて
植える

栽

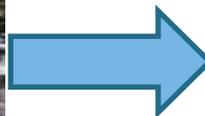
うえかた

植

真っすぐに
植える

盆栽の基礎知識

- 自然の風景を鉢の中に凝縮し、理想の美を表現
- 人より大きなものから指先サイズまで
- 中国から伝来、日本で独自に進化
- 「松柏盆栽」「雑木盆栽」「草ものの盆栽」



画像出典：雨宮園

- 樹形により10種類程度に分類



画像出典：[さいたま市大宮盆栽美術館](#)



画像出典：[Ilyessuti / Pixabay](#)



画像出典：[盆栽](#)



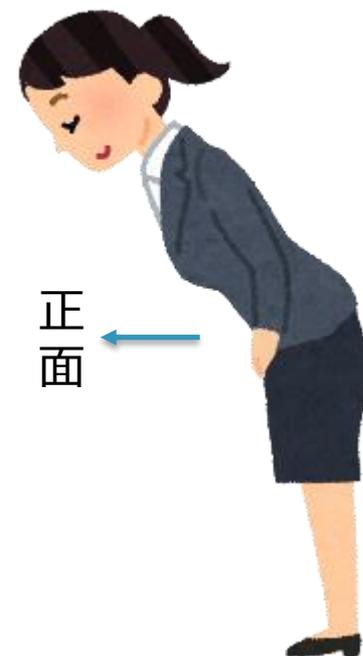
画像出典：[松風園](#)



画像出典：[雨竹盆栽水石便り](#)

盆栽の基礎知識

- 「正面」=こちらから見る、という向きがある
- しゃがんで見上げてみよう



- 枝先が枯れこみ白化したもの→ジン
- 幹が枯れこみ白化したもの→シャリ



画像出典：[盆栽エンパイア](#)

- 盆栽の美は「人と植物のコラボレーション」



画像出典：[さいたま市大宮盆栽美術館](#)

観光スポット

- 大宮盆栽美術館 (A)
- 蔓青園 (B)
- 盆栽四季の家 (C)
- 清香園 (D)
- 九霞園 (E)
- 藤樹園 (F)
- 植竹稻荷社 (G)
- 芙蓉園 (H)



大宮盆栽美術館 盆栽の名品が揃う公立美術館

- 「季節の一鉢」
- 「コレクションギャラリー」
- 座敷飾り
- 企画展示室
- 盆栽庭園
- テラス



画像出典：花と緑の図鑑 [Garden Vision](#)

大宮盆栽美術館 盆栽の名品が揃う公立美術館



蔓青園

世界にその名が轟く名園

- 盆栽村へもっとも早く入植した盆栽園
- 迫力ある大型盆栽が豊富
- 国後島産蝦夷松の盆栽化に成功
- 「盆栽を通じた世界平和」



清香園 江戸の粋、現代の美

- 嘉永年間創業の老舗盆栽園
- 美意識が隅々まで行き届く庭園
- 日本の原風景を描く「彩花盆栽」
- 道具や苗の品揃えが豊富



芙蓉園 雑木の匠が描く柔和な世界

- 細やかな枝先に宿る匠の技
- 小さな森？！圧巻の寄せ植え
- 沖縄の植物をはじめとした珍しい南洋盆栽
- 四季の変化が美しい雑木盆栽



藤樹園 盆栽の普及に尽力する名園

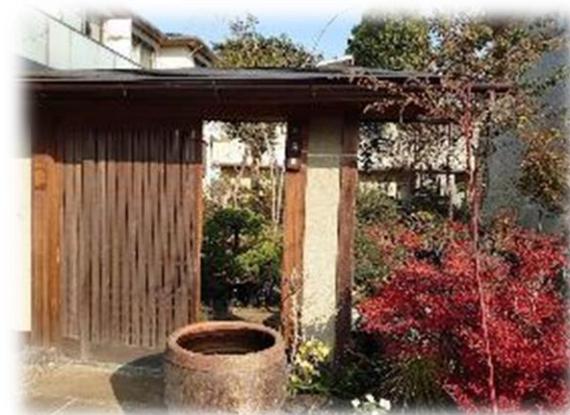
- 日本初の盆栽教室 1969年開講
- 初心者でも気軽に盆栽を楽しめるよう尽力
- 人気の五葉松を多く手掛ける
- 中品盆栽に力を入れている



九霞園

木本来の個性を生かした自然な作風

- 戦時下危機的状況であった盆栽の歴史を繋いだ
- ハサミをはじめとした盆栽道具の開発
- 針金掛けを施さない独特の手法
- 多肉植物、外来植物など多様な盆栽



盆栽四季の家 盆栽村散策の休憩に

- 氷川神社の元宮司邸を一部移築復元
- 誰でも使える無料休憩所（9:00～17:00）
- 清潔な洋式トイレ・自動販売機あり
- 無料駐車場併設



清水瀨庵翁紀功碑 盆栽村の父の功績を讃えて

- 植竹稻荷社に建つ「盆栽村の父」の碑
- 土地探しから奔走し、盆栽村を作り上げた
- 初代盆栽村組合長
- 先進的なアイデアで
未来に通じる街づくり



画像出典：[トラベル.jp](#)

観光スポット（食べる・買う）

- 盆栽レストラン大宮
和洋・ベジタリアン対応。盆栽を展示。道具の販売も。
- 蕎麦処ゆたか
本格的な手打ちそば。大宮公園駅至近。
- 手打ちそば きくち
古民家風そば店。錦鯉の泳ぐ坪庭も。
- 発酵café華茂未来～カモミラ～
ヘルシーな発酵ドリンクやランチ。
- お弁当 肉の平金
盆栽コロッケが散策のスナックに人気。

周辺情報

- **武蔵一宮氷川神社**
関東280社の氷川神社の総本社・
全国16勅祭社の1つ
- **大宮公園**
約1,000本の桜や赤松の林が
広がる広大な公園
- **鉄道博物館**
JR東日本の車両41両が展示される
大型博物館
- **川越**
JR大宮から25分。豪壮な蔵の街で
知られる人気観光地。



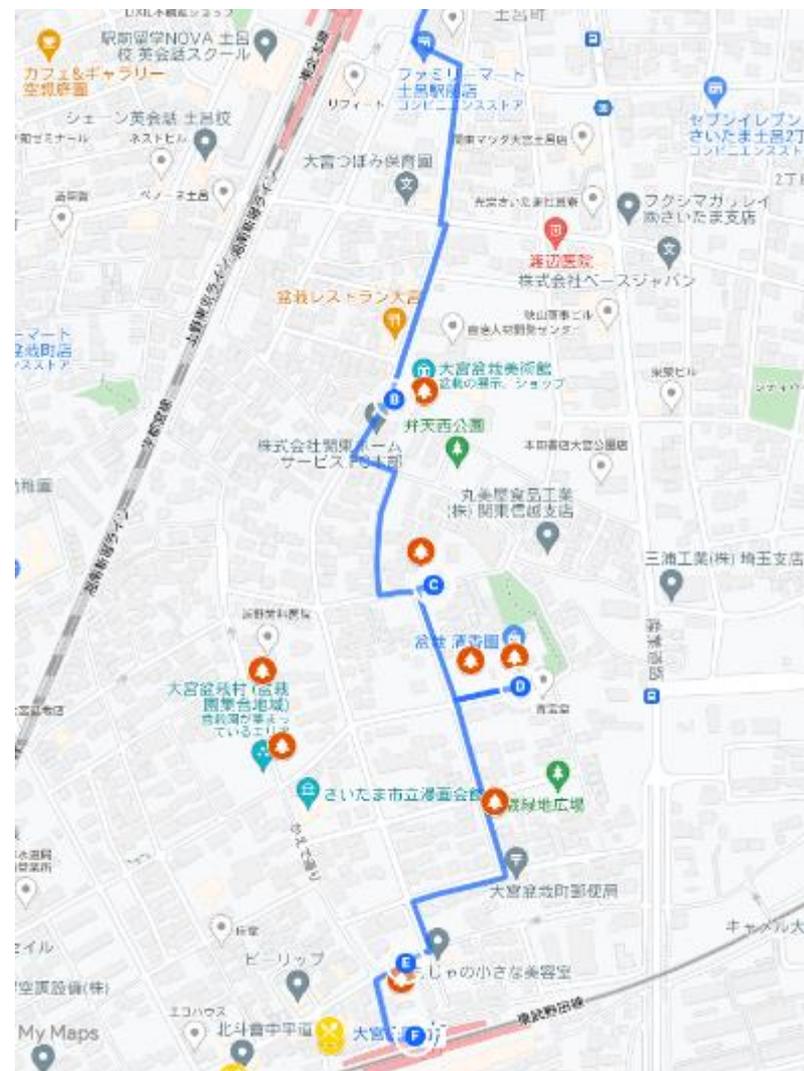
画像出典 : [Google Map](https://www.google.com/maps)

オススメルート

<半日コース>

土呂駅→大宮盆栽美術館→
蔓青園→清香園→芙蓉園
→大宮公園駅

盆栽美術館と、村内の盆栽園の
うち3園をピックアップ。



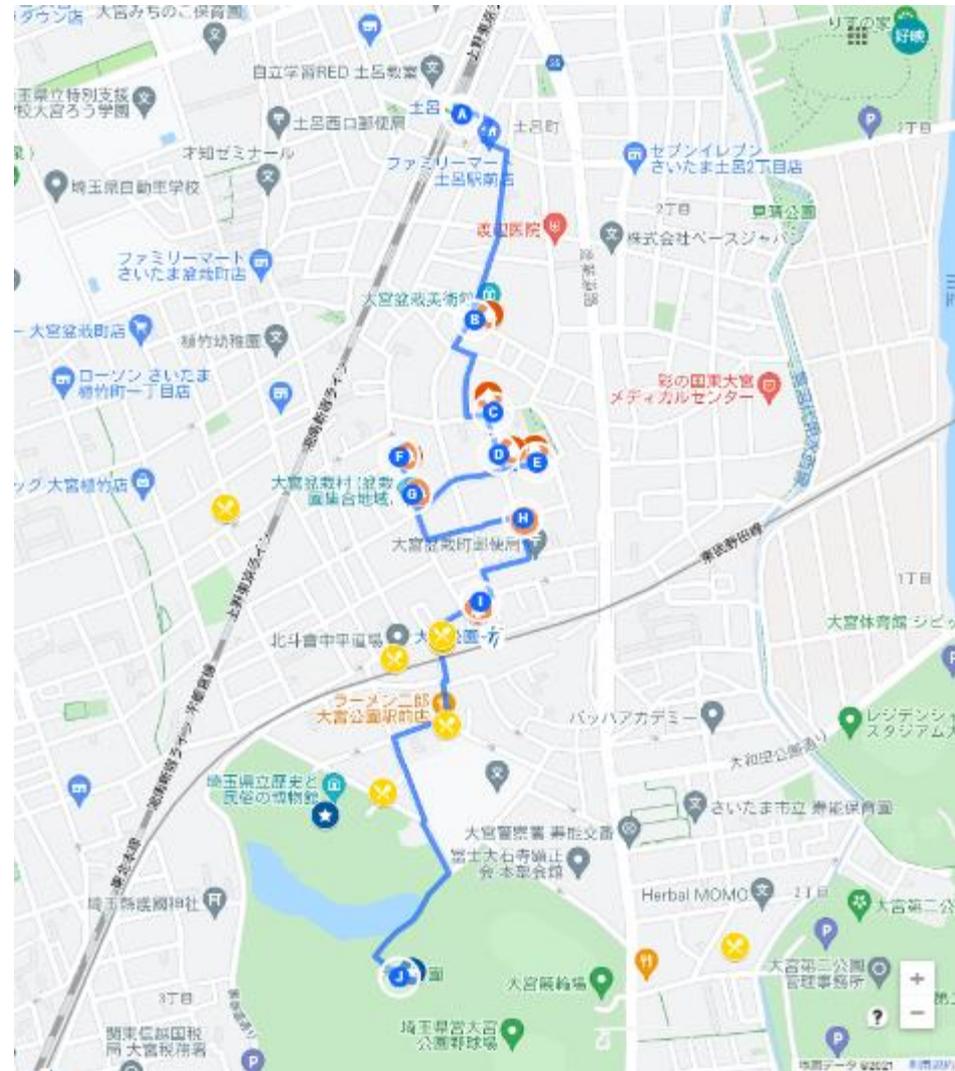
画像出典 : [Google Map](#)

オススメルート

< 1 日コース >

土呂駅→大宮盆栽美術館
→蔓青園→盆栽四季の家→
清香園→藤樹園→植竹稻荷社
→九霞園→芙蓉園→大宮公園
→武蔵一宮氷川神社
→大宮公園駅

美術館・盆栽村内 5 園を巡り、
大宮公園と氷川神社へ。
鉄道博物館や川越と
組み合わせても。



画像出典：Google Map

下見のポイント

- 土呂駅・大宮公園駅からの動線確認
- トイレ→大宮盆栽美術館、盆栽四季の家、駅
- ATM→大宮盆栽町郵便局、土呂駅西口セブンイレブン
- 交通機関→JR宇都宮線、東武アーバンパークライン、駐車場
- 雨天時→盆栽園内では傘の使用不可、雨合羽を用意
- 休憩所→盆栽四季の家
- 飲食店は少ないため、場所と種類を把握
- 美術館は木曜日に展示替え
- 美術館・盆栽園ともに木曜日は休み
- 盆栽園内は写真撮影禁止



【3S】を使った説明例

【3S】を使った説明例 「場所／もの」

結論

- ここは大宮盆栽美術館です

解説

- **<make Sense>**
世界初の公立盆栽美術館
- **<Surprise>**
常時60点ほどの盆栽が並ぶが…
- **<Smile>**
木曜日がCloseなのは…

あなたの国で盆栽を見られる場所は？

【3S】を使った説明例 「大宮盆栽美術館」

<make Sense>

- この美術館は、世界で初めての盆栽専門の美術館として、大宮盆栽村に隣接するこの地に2010年に開館しました。
- 美しい盆栽の他、盆栽に係る資料も収蔵展示されており、海外からも多くのお客様が訪れている盆栽の聖地なんですよ。

<Surprise>

- 常時60点ほどの銘木が展示されていますが、バックヤードで管理されているものを含めると約130点、草ものなどを合わせると約300点もの盆栽を収蔵しています。
- 盆栽は適宜入れ替えて展示されていますが、その中には1年にたった一度、一週間程度の期間しか展示されないという貴重な木もあるんです。
- また、盆栽は季節により姿が全く異なりますので、是非機会があれば、また別の季節にも来日してくださいね。

<Smile>

- さて、そんな盆栽美術館ですが、木曜日は休館です。
- 日本語で"Thursday"というのは"Day of Tree"というのですが、その通り木がゆっくりお休みをとる日なので、木曜日は閉まっているんですね。盆栽村の中の盆栽園も、同じく木曜日はお休みです。
- ただし、美術館では木曜日に展示替えが行われるため、人間にとっては一番忙しい日なんです。木は休み、人はあくせく働くなんて、実にこのエリアらしいですよ。

【3S】を使った説明例 「場所／もの」

結論

- これは「千代の松」という盆栽です

解説

- <make Sense>
「千代」=「非常に長い歳月」
- <Surprise>
美術館で最大の木
- <Smile>
大横綱「千代の富士」に
似た名前だけあって…

あなたならどんな名前にする？



画像出典：さいたま市大宮盆栽美術館

【3S】を使った説明例 「千代の松」

<make Sense>

- 「千代」という言葉は、直訳すると“a thousand generation”ですが、日本語では「非常に長い年月」“a very long time”や「永遠」“eternity”を表す言葉です。
- また、松は常に若々しい緑の葉っぱをたたえていることから、日本では永遠の命の象徴でもあり、ゆえにおめでたい植物です。
- その言葉が表す通り、この木は推定樹齢500年という非常に長い年月を生き抜いてきました。

• <Surprise>

- この木は盆栽美術館で一番大きな木です。
- 横幅はなんと1.8m、高さは1.6mもありますから、大体大人が両手を広げたくらいの大きさですね。
- こんな大きなものでも鉢に植わっており、丁寧に整えられていることから、盆栽なんですね。

• <Smile>

- ところで、昔、大変有名な「千代の富士」という人気力士がいたのですが、似た名前をもつこの木は、名前だけではなく大きさもお相撲さん級ですね。
- あまりにも大きくて持ち上げることができないため、ターンテーブルに載っているんです。
- 時々日当たりのためにお尻を向けていることがありますが、失礼を許してくださいね。

Japan 
Wonder
Guide

FIN.